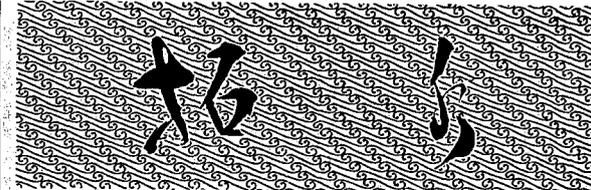


12月号 No.327 一部10円 (会員の購読料は指導事業経費より支払われています)

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会 兵庫県水産改良普及協会 神戸市兵庫区中ノ島 2-2-1 TEL 681-6954~7 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

合成洗剤を追放しよう!! 生命のふるさと海を守るために



第一回全国漁協大会

坊勢漁協に農林水産大臣賞が

坊勢漁協に農林水産大臣賞が

第一回全国漁業協同組合大会が秋晴れの十一月十八日東京九段会館で開催され、本県からの三〇名の他、全国各地の漁協系統代表一五〇〇名が参加した。

大会は宮原大会委員長(全漁連会長)のあいさつで始まり、「漁協運動の推進・強化に関する決議」および「政策課題推進に関する決議」が採択された。

また、同大会では優良漁業協同組合として本県からは坊勢漁協(桂一心組合長)が農林水産大臣賞を、組合運動功労者として田中勲雄氏(浜坂町漁協組合長)が全漁連会長賞を受賞した。

「協同意識を高めて組合員主体の活動を展開しよう」「資源・漁場を自主管理し漁漁計画を推進しよう」「漁業生産体制を整備し経営の安定を図ろう」「組織と経営を刷新し事業機能の強化を図ろう」「漁業基本政策の確立を推進しよう」「水産業に対する具体的施策の強化を図ろう」という六本の大会スローガンが、その後の経過を明らかにするなか、物故を振り起るとき、必ずしも



力強く意見表明する木下組合長(津居山港漁協)

漁協運動の推進・強化に関する決議

漁協系統組織は六十万人の組合員と二十万有余の漁業を擁し、その組織活動と事業展開を通じて、過去にくたぐりとなく困難な局面に遭遇しつつもこれを乗り切り、組合員の生活の向上と地域社会の発展に寄与してきた。

しかるに、第一次石油危機を契機として漁業、漁協をとりまく環境は急速に激しさを増し、その後十年、われわれの努力にもかかわらず情勢の好転をみるに至らず、事態は今後も深刻化するおそれがある。漁協運動はかつてない試練の中に立ち立っている。

この時に当たり、われわれは公正な社会の実現をめざす協同運動本来の使命に立ち、全国の漁協系統組織に結集する組合員の自主・自立互助の協同組合精神にもとづき、組織の一層の結束を固め、英知を集めて難局を打開し、将来の展望を切り開いていかなければならない。

かかる事態認識のもと、われわれは過去における協同意識を高揚する場、協同活動を生産の場、組合員主体の協同活動を展開する場、計画の漁業経営の構築を図る。

3、資源計画を推進し、漁業生産構造の再編を推進し、資源に見合った生産体制の確立と経営体制の改善を図る。

4、漁業基本政策の確立を推進し、資源の持続的利用と事業機能の強化を図る。

5、組織と経営を刷新し、事業機能の強化と事業運営の効率化を図る。

(政策課題に関する決議)は、面に掲げたいします

漁協運動の推進強化、政策課題推進に関する決議を採択

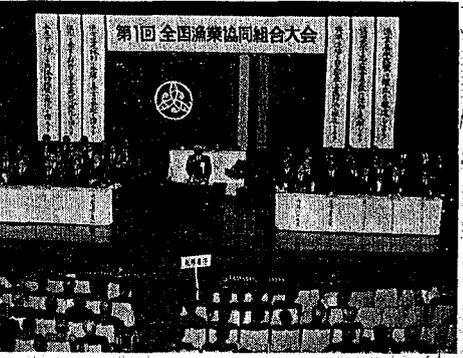
「協同意識を高めて組合員主体の活動を展開しよう」「資源・漁場を自主管理し漁漁計画を推進しよう」「漁業生産体制を整備し経営の安定を図ろう」「組織と経営を刷新し事業機能の強化を図ろう」「漁業基本政策の確立を推進しよう」「水産業に対する具体的施策の強化を図ろう」という六本の大会スローガンが、その後の経過を明らかにするなか、物故を振り起るとき、必ずしも

「協同意識を高めて組合員主体の活動を展開しよう」「資源・漁場を自主管理し漁漁計画を推進しよう」「漁業生産体制を整備し経営の安定を図ろう」「組織と経営を刷新し事業機能の強化を図ろう」「漁業基本政策の確立を推進しよう」「水産業に対する具体的施策の強化を図ろう」という六本の大会スローガンが、その後の経過を明らかにするなか、物故を振り起るとき、必ずしも

「協同意識を高めて組合員主体の活動を展開しよう」「資源・漁場を自主管理し漁漁計画を推進しよう」「漁業生産体制を整備し経営の安定を図ろう」「組織と経営を刷新し事業機能の強化を図ろう」「漁業基本政策の確立を推進しよう」「水産業に対する具体的施策の強化を図ろう」という六本の大会スローガンが、その後の経過を明らかにするなか、物故を振り起るとき、必ずしも

県青壮年部活動実績発表大会

岩見漁協友水会が全国大会へ



開会にあたりあいさつを行う宮原大会委員長

第三十一回兵庫県漁村青壮年部活動実績発表大会が十一月十四日県立水産会館大会議室で開催された。大会には、県内各地方、但馬地区から一三〇名の青壮年部員が参加し、日頃の研究活動結果を発表した。また、昭和五十七年度に新たに漁業に就業した一四名の若者に、対し励ましの言葉を贈り、新たな門出を祝った。研究活動発表課題のうち、全国大会へは、岩見漁協友水会の「ヒラメ栽培漁業の成果」が推選された。この大会は、昭和三十一年に発足し、今年で第三十一回の開催を数え、多くの研究発表が今日の賞賛も与えられた。なお、当日の発表課題は次のとおり。

一、研究活動実績発表
二、研究発表の奨励
三、研究発表の奨励
四、研究発表の奨励
五、研究発表の奨励
六、研究発表の奨励
七、研究発表の奨励
八、研究発表の奨励
九、研究発表の奨励
十、研究発表の奨励
十一、研究発表の奨励
十二、研究発表の奨励
十三、研究発表の奨励
十四、研究発表の奨励
十五、研究発表の奨励
十六、研究発表の奨励
十七、研究発表の奨励
十八、研究発表の奨励
十九、研究発表の奨励
二十、研究発表の奨励
二十一、研究発表の奨励
二十二、研究発表の奨励
二十三、研究発表の奨励
二十四、研究発表の奨励
二十五、研究発表の奨励
二十六、研究発表の奨励
二十七、研究発表の奨励
二十八、研究発表の奨励
二十九、研究発表の奨励
三十、研究発表の奨励
三十一、研究発表の奨励
三十二、研究発表の奨励
三十三、研究発表の奨励
三十四、研究発表の奨励
三十五、研究発表の奨励
三十六、研究発表の奨励
三十七、研究発表の奨励
三十八、研究発表の奨励
三十九、研究発表の奨励
四十、研究発表の奨励
四十一、研究発表の奨励
四十二、研究発表の奨励
四十三、研究発表の奨励
四十四、研究発表の奨励
四十五、研究発表の奨励
四十六、研究発表の奨励
四十七、研究発表の奨励
四十八、研究発表の奨励
四十九、研究発表の奨励
五十、研究発表の奨励
五十一、研究発表の奨励
五十二、研究発表の奨励
五十三、研究発表の奨励
五十四、研究発表の奨励
五十五、研究発表の奨励
五十六、研究発表の奨励
五十七、研究発表の奨励
五十八、研究発表の奨励
五十九、研究発表の奨励
六十、研究発表の奨励
六十一、研究発表の奨励
六十二、研究発表の奨励
六十三、研究発表の奨励
六十四、研究発表の奨励
六十五、研究発表の奨励
六十六、研究発表の奨励
六十七、研究発表の奨励
六十八、研究発表の奨励
六十九、研究発表の奨励
七十、研究発表の奨励
七十一、研究発表の奨励
七十二、研究発表の奨励
七十三、研究発表の奨励
七十四、研究発表の奨励
七十五、研究発表の奨励
七十六、研究発表の奨励
七十七、研究発表の奨励
七十八、研究発表の奨励
七十九、研究発表の奨励
八十、研究発表の奨励
八十一、研究発表の奨励
八十二、研究発表の奨励
八十三、研究発表の奨励
八十四、研究発表の奨励
八十五、研究発表の奨励
八十六、研究発表の奨励
八十七、研究発表の奨励
八十八、研究発表の奨励
八十九、研究発表の奨励
九十、研究発表の奨励
九十一、研究発表の奨励
九十二、研究発表の奨励
九十三、研究発表の奨励
九十四、研究発表の奨励
九十五、研究発表の奨励
九十六、研究発表の奨励
九十七、研究発表の奨励
九十八、研究発表の奨励
九十九、研究発表の奨励
百、研究発表の奨励

経営基盤の強化と信用事業路線の確立を 全国漁協信用事業強化対策兵庫県運動がスタート

わが国の漁業は、第一次オイルショック以来、外国の二〇〇カイル漁場規制、水産物需要の伸び悩みと魚価の不安定、燃料価格高騰等による漁業経営危機に見舞われ、一部業種においては減産を含む業界の再編成を迫られるなど、漁業構造そのものの転換を図らなければならぬ大きな転機に立たされている。

また、低成長経済下において金融の自由化が進むなかで、金融機関や証券会社など既往の取引分野や垣根を越えた激しい競争が展開されており、個々の経営の効率化ととりに合併等による中小金融機関の再編も避けられないとの見通しもなされている。

こうしたなかで、組合員の、あるいは漁村における協同組合金融機関として、資金量の拡大、金融機能の強化等に努力してきた漁協信用事業は、貯金の伸び悩み、債権内容の悪化、利ザヤの縮小などの諸問題が表面化してきており、あらためて協同意識の高揚を通じて組織と推進体制の強化など、将来へ向けての自己の生き残り策を検討しなければならぬ岐路にあるものと言えよう。

このため、上記課題の対応策として全国段階でとりまとめられた「内外の環境変化にもとう漁協信用事業強化方策」に沿って県内の漁協ごとにそれぞれの組織、経営基盤、金融機能等の整備強化をはかり、あわせて、きびしい環境下における漁協信用事業の路線を確立することを目指すとした全国漁協信用事業強化対策兵庫県運動を兵庫県漁協連でスタートさせた。

運動期間は五十八年十月から六十二年三月で統一目標等については次のとおり。

① 組織基盤の強化
漁協信用事業としての特性・専門性を発揮するため、組合員との絆の強化、他事業部門との連携強化をはかることにも、規模の零細性を克服することが必要である漁協については、合併、事業統合等個々の実態に応じた

② 金融機能の整備
組合員等のニーズにこたえる最低限の下記金融機能の整備をはかる。

① 貯金・貸付機能
組合員等の貯蓄・生活に即した各種目的の貯金商品、組合員等に対する住宅、生活関連資金貸出への積極的な取り組み。

② 決済機能
自己の為替の取扱いと、貸付をベースとする年金等口座振込、公共料金等口座振替の充実。



漁協信用事業の窓口

大組織基盤の強化をはかる。

③ 電算システムによる事務処理機能
県内システム化基本計画に沿った事務処理体制の整備。

④ 指導・相談機能
貸付、生活設計指導の充実による組合員の資金のトータル管理と家計のメイン化の増進。

⑤ 資金量の増進
小規模漁協において

番組のお知らせ

船員の広場
放送時間 19:30
19:45(日本時)
周波数 39.25 MHz
60.5 MHz
95.95 MHz
12月15日 肝臓の予防
22日 重宝物持ち上

海の安全メモ
放送時間 8:30
8:40
周波数 船員の広場
と同じ

12月10日 海国のはなし
17日 58年の航行安
全行政を振り返って

は、為替等金融機能整備の前提条件整備のため、また、組織全体としての底上げのため、最低貯金残高5億円を達成する。すでに最低水準を超えている漁協は、あつては、個々の実態に応じて段階的かつ計画的に資金量の増大をはかる。

この運動の推進にあたるため「兵庫県漁協信用事業強化推進委員会」を設置する。

推進
漁協系統団体に新規採用が確定した者、もしくは本校卒業後直ちに採用が保証されている者。

三 出願手続
三 出願に必要書類、入学願書、卒業成績証明書、身体検査書、保証書

(2) 入学選考料
① 〇、〇〇〇円
② 提出先および提出期間
都道府県漁業協同組合連合会長を経て、出席に必要な書類を添えて、一月十日から三月十四日まで提出する

四 選考方法
本校は書類選考、学科試験(受験資格A該当者は免除)および面接試験(必要に応じて実施する)のうえ総合審査を行い、入学者を決定する。

学科試験は次の四教科について行なう。

国語(現代国語)、社会(数学)、作文
詳しくは兵庫県漁協指導課まで。

全国漁業協同組合学校 第45期学生募集中!!

漁村の中核体である水産業協同組合の役員と建設の「先達」となる人材の養成を目的として設立された全国漁業協同組合学校は現在、学生を募集している。

同校では、広範な知識の修得、高度の能力と併せて漁協運動の担い手として、自主、自立、互助の精神を体得させることに力を注いでいる。

このため、教育の一環の効果を図るため、少人数教育とし、かつ全寮制の下に全学生が寮生活をを通じて連帯意識の育成と協同の精神の涵養に努めている。

学生募集要項は次のとおり。

学生募集要項
一、募集人員 五〇名
二、受験資格
志願書、身体検査書、次の各項目のいづれかの条件を備える者
A 現在漁協系統団体に勤務中(原則として高等学校卒業者は一年以上、中学校卒業者は一年以上)の者、あるいは高等学校卒業後一年以上漁業に従事する者で漁協系統団体に新規採用が確定した者、もしくは本校卒業後直ちに採用が保証されている者。
B 高等学校卒業生(昭和五十九年三月卒業見込の者等を含む)またこれら者と同程度の学力を有すると認められる者で

「21世紀の年金」とは

年の瀬になつて、またぞろ年金改革年の話題がでています。自民党の公的年金調査会(田中正巳会長)では十一月十九日「公的年金再編・統合スケジュール」を発表し、昭和七十一年を目途として公的年金を統合する。この公的年金を統合するための年次別作業日程が示されました。

また、二十一日には厚生省年金局の「二十一世紀の年金を考へ」と題する試案が公表されました。これは、昭和五十九年の改正法(向け)で、国

「年金制度再編」の動き

① 公的年金を基礎とする年金制度再編
厚生省では、このような試案を示してアンケート調査を実施し、来年六月に最終的なまとめを行ない、「二十一世紀の年金」の姿を浮き彫りにしようと考えているようです。

② 給付と負担の水準
公的年金を基礎とする年金制度再編の給付水準は、現役労働者の所得水準や負担とのバランスを考慮し、その適正化を図る。

③ 加入期間
加入期間四十年の男子で平均標準給付率(率) 五万円
合計 十万円
保険料(率)

④ 給付と負担の水準
公的年金を基礎とする年金制度再編の給付水準は、現役労働者の所得水準や負担とのバランスを考慮し、その適正化を図る。

⑤ 加入期間
加入期間四十年の男子で平均標準給付率(率) 五万円
合計 十万円
保険料(率)

漁村の中核体である水産業協同組合の役員と建設の「先達」となる人材の養成を目的として設立された全国漁業協同組合学校は現在、学生を募集している。

同校では、広範な知識の修得、高度の能力と併せて漁協運動の担い手として、自主、自立、互助の精神を体得させることに力を注いでいる。

このため、教育の一環の効果を図るため、少人数教育とし、かつ全寮制の下に全学生が寮生活をを通じて連帯意識の育成と協同の精神の涵養に努めている。

学生募集要項は次のとおり。

学生募集要項
一、募集人員 五〇名
二、受験資格
志願書、身体検査書、次の各項目のいづれかの条件を備える者
A 現在漁協系統団体に勤務中(原則として高等学校卒業者は一年以上、中学校卒業者は一年以上)の者、あるいは高等学校卒業後一年以上漁業に従事する者で漁協系統団体に新規採用が確定した者、もしくは本校卒業後直ちに採用が保証されている者。
B 高等学校卒業生(昭和五十九年三月卒業見込の者等を含む)またこれら者と同程度の学力を有すると認められる者で

漁船海難遺児
第4期募金運動実施中

たしかな励まし愛の手を

こちら…神戸漁業無線局です!

通信ルールを守りましょう

- 指定周波数のみの運用厳守
- 緊急波(27.5KHZ)の完全確保

他の海岸局に迷惑をかけないで
かけがえのない

漁業無線は……私達漁民の無形財産

順調にすすむ 福良湾のヒラメ養殖試験

普及だより



「昭和58年度新技術企業化試験」として、福良漁業協同組合、県立水産試験場、並びに栽培漁業センターの御協力を得て、福良湾において「ヒラメ海面養殖試験」に取り組んでいます。

施設は、中間育成用陸上施設として、FRP水槽と2つに切ったシリゲル水槽、海面養殖用施設として、9m×9mの海面生簀2基と表1に示す4種類の小割網を用いました。

ヒラメ稚魚は栽培漁業センターで生産された30mmサイズのものを8千尾を7月2日に陸上移送によって中間育成用陸上施設に収容しました。餌はイカナゴを主体に、1日4〜5回与え、稚魚は成長差に応じて3つの区分に選別しました。中間育成期間中は、共喰いによる減耗が激しかったものの順調に成長し、8月5日には平均68mmサイズのものが14千尾が生残し（歩留りが33%）、この時点で海面施設に移しました。12月1日時点で平均70mm、20gサイズのものが14千尾が生残し（海面施設に移してからの歩留りが92%）、順調に育成しています。

なお、ヒラメの海面養殖においては、成長差と共喰いの差が選別作業を難しくしているため、選別作業をまめにやって体長

海技免状移行講習のご案内

主催 日本船舶職員養成協会神戸支部

昭和58年4月30日まで免許取得された方（更新免許者という）で新法によって就業範囲を拡大したい方は、昭和63年3月末（5年以内）までにこの移行講習を受講することにより、新しい就業範囲を得ることが出来ます。

▲移行講習相当講習▼

とは、昭和58年4月30日以前、旧制度で実施される国家試験に受験し、合格した方が必ず受講しなければならぬ講習です。

なお、詳しくは兵庫県漁業指導課まで。

講習日程及び期間

講習会場は下段に掲載

神戸支部教室 神戸市中央区波止場町6-13 甲南ビル2階12号室

1、機関科の日程は、内燃機定の例で無限定はこのほか、5日追加となります。

2、開講日は午前8時30分から受付後、開講式

3、講習時間は、通常午前9時から午後5時までです。

4、受付期間は、開講5日前までとし、定員になり次第締切ります。

必要書類

(1)受講申込書 (2)写真2枚（6カ月以内撮影の無背景の縦3cm、横3cmで写真の裏面に氏名生年月日を記入したもの）

(3)海技免状 (4)授業料等

政策課題推進に関する決議

（一面よりのつぎ）

われわれ漁業者は、旺盛な生産意欲と開拓精神により、国民の食糧需要にこたえて生産の増大を図り、食糧供給という重要な責務を果たしてきてきた。しかしながら、石油ショックを契機として、わが国漁業をとりまく環境は急速に悪化し、漁業経営は未曾有の構造的危機に直面している。

このような厳しい状況の中にあつて、われわれが今後とも国民への食糧供給の使命を全うするためには、漁業の再編成を含む抜本的かつ総合的な改革が急務であり、これを遂行するため、漁業者みずからが系統組織をあげ、ことに小割網に於いて収容し、共喰いによる減耗を軽減する必要がある。また、御存じのように、底層性であるヒラメは波による施設の揺れが原因となって、ストレスや擦れによる体長の傷による疾病を起す。この対策としては、生簀の大形化による揺れの軽減と、小割網の底層にマット状の底面材を敷いたることによって、重しの役割と同時に、底層の張

1、就業範囲の変更と免状の引換えを同時に行う場合は、写真1枚と申請手数料が追加になります。

2、航海科（乙二航以下）の講習には、三角定規・パイプタイ等をご持参下さい。

(5)印鑑

1、就業範囲の変更と免状の引換えを同時に行う場合は、写真1枚と申請手数料が追加になります。

2、航海科（乙二航以下）の講習には、三角定規・パイプタイ等をご持参下さい。

講習の種類	丙士→6級	丙長→5級	乙二→5級	乙一→4級	乙長→3級
1月	航海 1.7~1.10	1.12~1.19	1.21~1.25	1.27~1.30	2.1~2.5
2月	機関 2.6~2.7	2.9~2.14	2.17~2.19	2.21~2.22	2.24~2.27
3月	航海 3.15~3.18	3.23~3.30	3.10~3.14	3.6~3.9	2.29~3.4

網名	魚体サイズ	側網仕様	底層仕様	網目	網目
A	3~5cm	130紐 6×6 モジ網	同 左	1.5×1.5	4張
B	5~10cm	90紐 8×8 "	"	3.0×3.0	3張
C	10~20cm	18紐 200/16 無結節	"	3.0×3.0	3張
D	20cm以上	8紐 400/30 "	15紐 200/20 無結節	3.0×3.0	5張

注：底網には鉄棒を付け安定させ、底面材として不織布を使用。

海況

播磨灘 調査は10月31日〜11月1日に実施した。

表層の水温は19.8〜21.3℃の範囲にある。水深分布は、北部は低南部は高の冬型となり、北西部の水深は20℃を割っている。これに対し、灘中央部および南部では21℃を示し、前月に引き続き、例年並となっている。表層の塩分は31.14〜32.07‰の範囲にある。前月は例年並約30.5‰を下回っていたが、今月はほぼ例年並に回復している。

大阪湾 調査は11月22日に実施した。

表層の水温は17.4〜18.0℃の範囲にある。水温の海域差は小さいが、傾向として友ヶ島水道側が高く、湾北部が低い分布となっている。例年に比較すると1.0〜1.5℃低目であるが、これは観測前における数日間の急な冷え込みによる影響と考えられる。表層の塩分は31.31〜32.89‰の範囲であり、ほぼ例年並の値である。

紀伊水道 調査は11月22日に実施した。

と漁況 兵庫県立水産試験場

明石海峡・播磨灘東部（明石浦）

漁種	隻数	主魚種	1隻日平均	
			漁獲量 (kg)	価 (円)
小型底びき網	30	イコ、ゼカゴ、メコ、オコ、マコ、ハコ、ダイコ	15~20 4~5 20~30 3~5 3~4 10~15 5	1,000~3,500 500~3,000 600~1,500 4,000~10,000 2,000~3,000 300~1,800 100~500
	3	カサ、サメ、アマ、イサ	40~50 5	300~2,300 800 800
一本釣	20	ササ、ワラ、コイ	5~10 20~30 30~50	1,500~2,000 700 400~500
	20	コイ、チ	20~50	400~500
	15	タチ、ウオ	50	350~1,000
延縄	10	トラフ、グ(小)	8~15	500~1,000
	1	シマカ、ロサ、グナ、チゴ	50~100 40~50 10~30	500 1,300~1,500 1,500~3,000
吾智網	3	マダ	7~8	5,000~10,000
文鎮漕	3	イマ	5~6 5	1,500 1,500

した。表層の水温は17.6〜18.1℃の範囲にある。分布は水産東部域で高く、西部域で低くなっている。海域差は小さい。例年値と比較すると1.5〜2.0℃程度例年を下回っており、低水温の傾向は、大阪湾より著しい。表層の塩分は32.44〜33.07‰の範囲にあり、例年と比較やや低目を示している。

漁況

昭和58年度下半期（10月3日）の太平洋南海域における回遊性魚類の予測を前回にひきつづき掲載します。

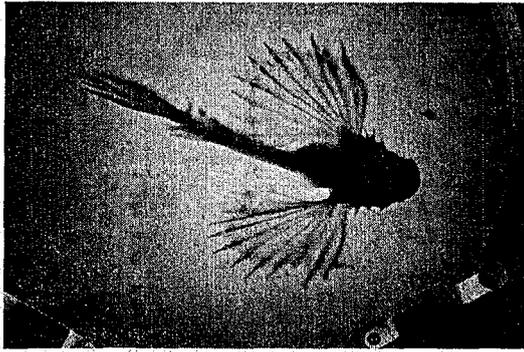
マアジ 著しい低水温は全国的に渡り、低水温にあり、漁獲量は昭和46年の27万トンから次第に減少し、55年には5.4万トンにまで低下した。このうち、従来最も大きな資源であった東シナ海中部系群の減少が著しく、近年この方面からの捕獲が少なく、各地のローカル群に由来するものが主体となっている。しかし、55年を各とみれば、57年の漁獲量は10万トンを越したと推定される。

南西海区でも低水温が続き、57年の漁獲量は10万トンを越したと推定される。

サバ類の全国漁獲量は、近年10万トン以上の高水準が続いていたが、昭和53年10万トンをピークとして次第に低下し、56年90万トン、57年には64万トンに減少した。とくに太平洋側の三陸〜関東近海での落ち込みが目立っている。これは、サバ類のなかで漁獲の大部分を占めるマサバの低下によるものと思われる。南西海区におけるマサバの漁獲量は49年以降4万トン前後の高水準で経過し、その後も漁獲量はみられず、55年からむしろ増加して、56年には5万トンを越している。これは、サバ類のなかで、マサバはやや減少しているが、これに代わってゴマサバが増加していることによるものと考えられる。サバ類のなかでマサバの漁獲割合は、51〜52年頃の約10%から55年20%、57年には約35%に増加したと推定される。今年度上半期における各地の来遊状況をみると、マサバは旧年並では不振であったが、前年より著しい増え、土佐湾、紀伊水道方面では前年を下回るとみられる。一方、マサバは、夏季を中心に全般的に来遊が中心量的には前年を上回ったと推定される。

水試ノート

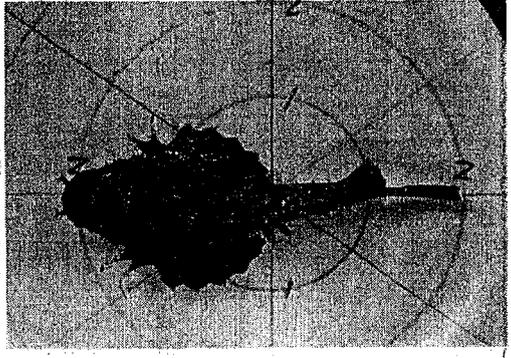
オニオコゼの話



孵化後19日目の稚オニオコゼ(全長12mm)

水産試験場では、昨年... 岩礁と様々な場所での生活... オニオコゼの生態... 暖海性の魚で、わが国... 分布と生息場所... 稚オニオコゼの生息... 産卵期は、6、7、8月と... 産卵場所は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に...

を好んで摂餌する。しか... 泳ぎ回るえびに腹だけ... 産卵期は、6、7、8月と... 産卵場所は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に...



全長41mmの稚オニオコゼ

三重県漁業無線一行(十二名) 神戸漁業無線局を視察

去る10月18、19日の両... 三重県漁業無線一行... 神戸漁業無線局を視察... 視察の内容... 視察の結果...

あり、特に交信秩序を維... 神戸漁業無線局は県漁... 設立20年にもなる協会... 視察の結果...

の逃避行動は続いてい... 産卵期は、6、7、8月と... 産卵場所は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に...

産卵期は、6、7、8月と... 産卵場所は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に... 産卵槽は、産卵槽に...

Table with 4 columns: Fish species, Net type, Catch volume, and Price. Includes items like 刺網, 突棒, 友ヶ島水道周辺(由良漁連).

11月の海況

Table showing sea conditions for Osaka Bay Northwest (明石浦) in November. Columns include net type, species, and catch volume.

Table showing sea conditions for Osaka Bay Northwest (淡路町) in November. Columns include net type, species, and catch volume.

Table with 4 columns: Fish species, Net type, Catch volume, and Price. Includes items like 一本釣, 刺網, 突棒.

Table showing sea conditions for various locations in November. Columns include net type, species, and catch volume.

Table showing sea conditions for Ise Bay (紀伊水道) in November. Columns include net type, species, and catch volume.

Table showing sea conditions for Ise Bay (紀伊水道) in November. Columns include net type, species, and catch volume.

サバ類の「予測」は次号に掲載いたします。

沿整法改正と栽培漁業 基本方針と基本計画

〔その1〕

栽培漁業が昭和三十八年に事業化されてから、はやく二十年を過ぎてい

る。当初は瀬戸内海を中心としたクルマエビ放流で始まったが、最近では全国的なものとなり放流魚種も多様化し、現在、

囲管及び県管の栽培漁業センターが全国各地で四

力所稼働している。今までの栽培漁業をふりかえってみれば、沿岸漁業の重要な振興策で

はあつたが、その実施については総合的かつ計画的に展開される段階に至って

ていかなかった。このような点から、去る六月に沿岸漁業栽培開

発法が改正され、栽培漁業の計画的な推進制度が創設された。換言すれば

な放流目標、単位施設当りの種苗生産水準など

の技術開発に関する事項(解決すべき技術開発の内容と目標など)

基本方針は、農林水産大臣が、沿岸漁業等振興審議会の意見を聞いて、

今後五年間における栽培漁業の基本的な方向を定めて公表するという制度である。方針の内容は次

の三項目である。①種苗生産、放流、育成

②種苗生産、放流、育成に関する基本的な方針及び目標(魚種別の全国的

な放流目標、単位施設当りの種苗生産水準など)

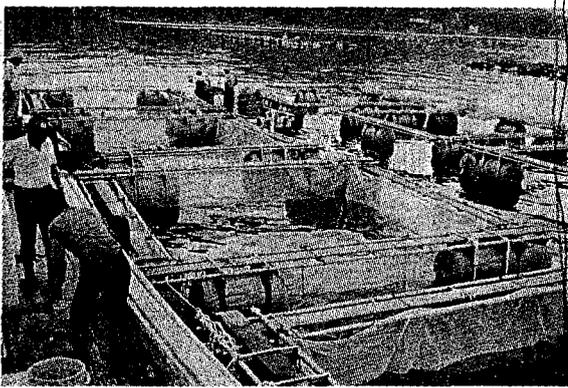
③その他種苗生産、放流育成に関する重要事項(推進方法など)

水産庁では、現在、検討委員会を設けて原案を作成中であるが、本誌度

内には公表される見込みである。

基本計画は、県段階で計画と方針を決め、海区漁業調整委員会の意見を

おいて、今後五年間における栽培漁業の基本的な計画と方針を決め、海区漁業調整委員会の意見を



マダイ中間育成場(奈良)

海の子作文

優秀作を全国へ

県漁婦連



和「わたしの父」諸君、小五年大谷清美「父の仕事」諸君小五年日浦弘

行「海にかこまれた坊勢島」坊勢小五年上田さ

た。この中から優秀作品を選考し、全国海の子作文展に出展した。

なお、優秀作品、佳作は次のとおり。(敬称略)

◎小学校低学年の部 「お父さんと海の話」 坊勢小三年池田まゆみ

◎小学校高学年の部 「海の子」 柴山小六年 浦瀬克久

◎小学校低学年の部 「むろつの海」 室津小一年さかうえみか「いか

な放流目標、単位施設当りの種苗生産水準など

の技術開発に関する事項(解決すべき技術開発の内容と目標など)

基本方針は、農林水産大臣が、沿岸漁業等振興審議会の意見を聞いて、

今後五年間における栽培漁業の基本的な方向を定めて公表するという制度である。方針の内容は次

の三項目である。①種苗生産、放流、育成

②種苗生産、放流、育成に関する基本的な方針及び目標(魚種別の全国的

な放流目標、単位施設当りの種苗生産水準など)

の技術開発に関する事項(解決すべき技術開発の内容と目標など)

基本方針は、農林水産大臣が、沿岸漁業等振興審議会の意見を聞いて、

今後五年間における栽培漁業の基本的な方向を定めて公表するという制度である。方針の内容は次

全国漁協連報値		前月対比	前年同月
残高	14,340	4.7%	5.3%

昭和三十八年10月末漁協貯金残高は、376億6千万円で対前年同月比で3.7%の増加となっております。しかし58年3月末対比では20億円(△4.4%)の減少であり、年度末目標額(423億円)まで47億円の増加が必要であります。今後の沖合底曳網漁業あるいは海苔養殖漁業の水揚高を期待し、各組合の年末特別貯蓄運動の大きな成果が上げられますようお願いいたします。

	56年度同月対比	57年度同月対比	前月対比
残高	34,314	36,332	37,601
増加額	3,345	1,227	58
伸び率	9.7%	3.7%	0.2%

世界で活躍する技術のヤマハ

曳力抜群!

ヤマハ伝統の底力。

内海船曳35馬力適合機関 4HA35

水産庁基準適合 低燃費機関

ヤマハディーゼル

ヤマハディーゼル株式会社

いすゞ

マリンエンジン

UM06BBIB

高速への挑戦!

特長

1. 小型、軽量、高出力
2. 卓越した耐久性、信頼性

いすゞ自動車株式会社

〒658 神戸市東灘区住吉浜町17 TEL (078) 811-1171